

令和5年度 太宰府市立学業院中学校 学校関係者評価

(※記述されたものをそのまま記載しています。)

1 学校経営

- ・歴史ある伝統校として極めて明快な経営方針を掲げている。
- ・校長や教頭等の学校経営層とは運営協議会で顔を合わせて議論することで経営方針や内容を理解でき、「学校経営」の項目に評価可能ですが、「学習」以後の項目については、私にとっては情報不足であり、正しい評価は困難です。なぜなら、私と生徒・教師の接点が非常に少ないためです。(接点は年に1～2回の授業参観と朝の通学路上の挨拶ぐらいです。) 評価することが must なら、全ての項目を3とします。その理由は、教師への期待感と性善説からです。今後、委員に対して授業参観等の機会を増やしていただければ嬉しいですが、邪魔にならない形で機会が増やせないか自分なりに考えてみたいと思います。
- ・学校教育目標が徹底しているかが、活動に大きな影響があるので会議の中で、いつも確認していくことが必要だろう。
- ・各々の行事や教育活動が全て学校教育目標を基に行われていることがよくわかりました。

2 学力向上や授業改善（ICT活用を含む）について

- ・上級へ進むにつれて生徒の理解度が高まり、先生方の創意工夫がうかがえる。
- ・家庭学習は管理できないので朝の学習が良いと思う。
- ・研究授業等を通して創意工夫のある授業研究に日々取り組んであることがよくわかりました。

3 生徒指導・人間関係づくりについて

- ・体育会等で活力ある仲間像、活発な学校像が見られることは素晴らしく何より安心。
- ・学校は友達づくりが最も大切で将来の活動に大きな影響を与えると思う。
- ・第5回運営協議会終了後、駐車場に向かうため、校庭に入るとかなり遠方から部活動の生徒さんにあいさつをいただきました。はじめは自分にされていると思いませんでした。自分達が中学生だった頃に先輩たちに廊下の端と端でもあいさつしていたことを思い出しました。ちょっと過剰なのでは？と感じました。
- ・積極的なあいさつ運動など日頃からコミュニケーションづくりに学校全体として取り組んでいることがよく伝わりました。

4 保護者や地域とのつながりについて

- ・あいさつ運動や地域学習の実践で身についた「3校連携」の力をさらに高めたい。
- ・地域との連携が良くとれており、地域としては助かっています。
- ・年度の最初に、懇親会をしてほしいです。
- ・定期的なパトロールや親子ふれ愛 Day 講演会等、PTA と連携しながら積極的に活動されていることがよくわかりました。